

はじめに

「越知の教育」第58集の発行にご協力を賜りましたみなさまに、厚くお礼申し上げます。本年度は、これからの未来を生き抜き、持続可能な地域を実現していく人材の育成を基本理念とし、第3期越知町教育振興基本計画【越知町教育大綱】（令和6年度から令和10年度）を令和6年3月に策定し、その施策の実現に向けて取り組んでおります。

- 基本目標（1） 安心して信頼される幼児教育・保育の充実

幼稚園と保育園を統合し、本年4月から旧保育園の施設において「幼保連携型認定こども園おちの子」を開園しました。そして、令和元年度から休止していた「子育て支援センター」を、旧幼稚園の施設を活用して再開できました。また、非認知能力の伸ばし方について、7月と1月に元岡山大学准教授の中山芳一氏を招聘し、幼児教育及び保育の質の向上に取り組みました。

- 基本目標（2） 自律して学び続けられる知・徳・体の調和のとれた生きる力を育む学校教育の充実

本年度も引き続き、越知町の指定研究として「主体的・対話的で深い学びのある授業づくり」の研究に小・中学校が連携して取り組み、西留安雄先生を招聘し、児童生徒が主体的に授業を進め、言語活動に重点をおいた深い学び合いの授業づくりに取り組みました。

学びの土台である温かい学級づくりでは、鳴門教育大学教授の久我直人先生から、個々の児童生徒の見取りと学校づくりの理論と実践について学びました。

タブレット等のICT（クラウド）を効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた「令和の授業づくり講座（教育DX）」の県指定を小学校が受け、6月と11月に公開授業を行うなど、児童生徒が授業や家庭で自分の選択と判断での活用を進めております。また、デジタル技術を活用した基礎学力向上の事例として、昨年度から2年間「デジタルドリル活用実証研究事業」の県指定を小・中学校が受け、AIドリル（すららドリル）を放課後学習や家庭学習で活用しております。

それらの取り組みを授業改善、放課後学習、家庭学習の充実に小中がつなげ、全国学力学習状況調査では、小学校は2教科中1教科、中学校は2教科全て高知県や全国の平均を上回りました。

- 基本目標 (3) 家庭・こども園・小学校・中学校・地域・福祉が連携して越知の子どもを育む環境づくり

家庭の子育て力向上では、4月の小・中学校の入学式及び9月の就学時健診に高知県立療育福祉センターの野々宮京子チーフを招聘し、保護者向けに「子どもの行動」に着目した内容で講座を開催しました。

地域教育推進協議会では、子どもたちと一緒にあいさつ運動、仁淀川で遊ぼう大会等、多様な体験の場を設定し、「越知の子は越知のみんなで育てる」という連帯意識のもと、「子どもたちに最もよい環境づくり」を目指して取り組みを計画していただき、6月にどろんこ運動会、2月にみんなの運動会を開催しました。8月の仁淀川で遊ぼう大会は台風の影響により残念ながら中止となりました。

第5回中学生議会では、中学3年生が4班に分かれて職場体験等を通じて感じて考えた質問と町活性化対策を提案していただき、町政参加への意識向上につなげております。

- 基本目標 (4) 自然、文化、歴史を通して生涯学び続けられる環境づくり

公民館活動では、1月に新春囲碁・将棋大会を開催、地区公民館は、運動会・カラオケ大会・ペタンク大会・盆踊りなど、地域におけるコミュニティ活動の中心であり、住民同士の繋がりを深めるための重要な活動の拠点となっております。

文化活動では、各サークルの活動を支援し、今年第61回越知町文化祭の期間(11月2日～5日)において、越知町文化推進協議会を中心とした「越知町文化祭」と「越知中学校文化発表会」とのダブル開催、そして、笑いで元気なまちづくり事業として「越知町笑いの日 2024」吉本お笑いライブを開催し、多くの町民のみなさまに楽しんでいただきました。また、淀家萬月さんの寄席等をあったかふれあいセンターや各地区公民館等に出向き12回開催しました。

北海道滝上町との交流事業は12年目となり、7月に滝上小の児童が越知町を訪問する夏の交流、2月に越知小の児童が滝上町を訪問する冬の交流ができました。また、滝上町トランポリン協会からトランポリン1台を寄付していただき、11月に滝上町の指導者のもと小学生全学年が体験しました。中学3年生の国内英語研修は、8月に東京のグローバルゲートウェイで英会話のみの体験を1日半しました。

社会体育では、町民スポーツ祭や小学生野球越知新人大会の開催、総合型地域スポ

ークラブや少年スポーツクラブ、スポーツ推進委員の活動等が計画どおり実施できました。高知ファイティングドッグスの選手等による小・中学校の授業や部活動への運動支援は、延べ42時間実施し児童生徒から好評を得ております。そして、小学生野球越知新人大会では、52チームが参加のもと越知バッファローは初優勝となりました。また、1月のピットリロードレースでは、今回も小学校が学校行事で参加していただき商店街を走るコースで開催し、164人の参加があり沿道からたくさんのご声援をいただきました。

本の森図書館では、子どもたちへのおはなし会、こども園への出張読み聞かせ、乳幼児へブックスタートとして本と木のおもちゃをプレゼント、新小学1年生にセカンドブック、新中学1年生にサードブックとして本をプレゼントしており、成長期に応じた本や読書に子どもたちが興味を持つような工夫や活動をしております。そして、図書館への来館が難しい方へ出張図書館を令和4年秋から開始し、当初は月10ヶ所（9地区）から本年度は月21ヶ所（16地区）と拡がっております。また、図書館協議会（委員5人）を設置し、11月に協議会を開催し様々な意見をいただきました。

横倉山自然の森博物館では、昨年度はNHK連続テレビ小説「らんまん」放送の影響もあり、入館者数16,864人となり11年ぶりの1万人超えとなりました。本年度は入館者数10,000人を目標に企画展、観察会及び講演会を開催し、9,500人程度の見込みとなります。また、全国のコウモリ愛好家で組織されているコウモリの会主催の「コウモリフェスティバル」が9月に博物館を主会場として2日間開催され、県内外から延べ314人が来館されました。今後も横倉山への導入施設、そして越知の子どもたちの学習の場として、関係機関と連携し、来館者の増加につなげていきたいと思っております。

これからも越知の教育の発展のため、関係各位のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和7年3月

越知町教育長 織田 誠